

臨床技能の活用・応用力 を高める ICT活用教育プログラムの導入

2019年1月26日（土）
栄養薬医歯看護学Gの対話集会
帝京平成大学 中野キャンパス



東京女子医科大学
医学教育学 大久保由美子

はじめに

- 学修者の習熟度に応じたスパイラル式の臨床技能の教育プログラムにICTを活用した
- 2年生：医療面接講義の際にWeb上のプレテストとポストテストを行う
- 4年生：臨床推論TBLで症状から鑑別診断を行う過程を学修する
- 5年生：患者から診断に必要な情報を収集するための医療面接・身体診察を行う実習で、学生の実技動画収録による振り返りを行う

臨床技能教育 【医療面接】

～2年生～

理解を促す医療面接講義の際の
Web上のプレテストとポストテスト

臨床診断総論プログラムの到達目標 (学修の手引きより)

- 臨床診断のための生体情報を論ずることができる
 - 筋道を立てて説明することができる
 - = 臨床推論

医療面接

身体診察法

画像診断

検体検査

生体機能検査

「医療面接」の理解を問うプレ・ポストテスト

Aテスト（みなさん、スマホを取り出してください）

- QRコードの読み取れるスマートフォンを持っている人は、「Aテスト」を読み込み、進めてください。
→最後まで回答したら「送信」を忘れずに。
- スマートフォンで進めることができない人は、手を上げて紙をうけとり、「Aテスト」を進めてください。

出席番号と氏名の記入を忘れずに

2018.8.30

Aテスト



Bテスト



授業終了後はこの用紙は破棄してください

臨床診断総論「医療面接」Aテスト

*必須

出席番号 *

回答を入力

氏名 *

回答を入力

1) 医療面接とは診察の最後に行う医療行為である。 *

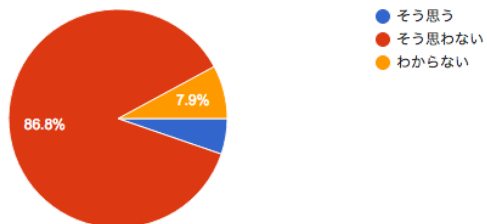
- ☐ そう思う
- ☐ そう思わない
- ☐ わからない

2) 医療面接の目的は、病歴聴取、患者医師関係の確立、患者教育と動機づけである。 *

- ☐ そう思う
- ☐ そう思わない
- ☐ わからない

1) 医療面接とは診察の最後に行う医療行為である。

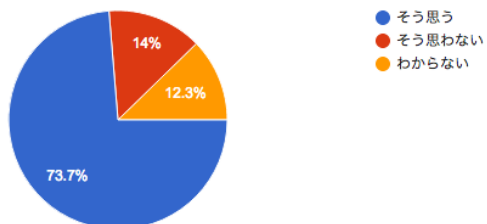
114 件の回答



2) 医療面接の目的は、病歴聴取、患者医師関係の確立、患者教育と動機づけである。

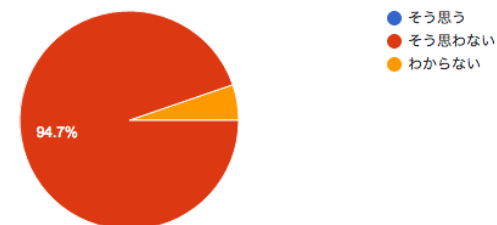


114 件の回答



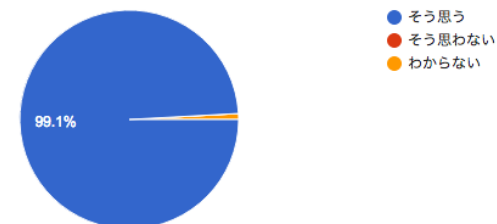
3) 医療面接は臨床現場で場数を踏めば上手くなるので、練習をする必要はない。

114 件の回答



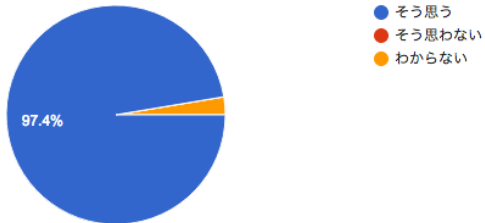
4) 患者さんの氏名はカルテに書いてあっても、口頭で確認しなければならない。

114 件の回答



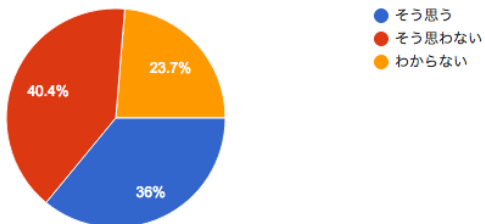
5) 医療コミュニケーションは、患者さんの「語り」へ耳を傾け、受け入れることが重要である。

114 件の回答



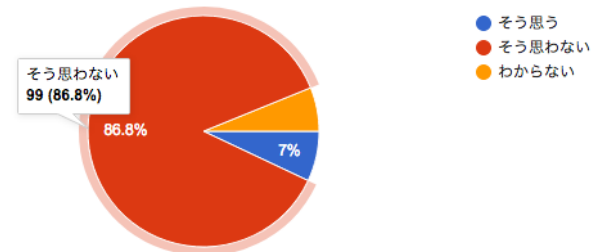
6) 外来の時間は限られているので、患者さんが簡単に答えられるクローズドクエスチョンをまず行うべきである。

114 件の回答



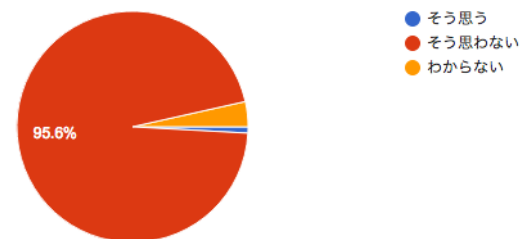
7) 日本人は感情を推し量る文化があるので、傾聴しなくとも患者さんへ共感の態度を伝えることができる。

114 件の回答



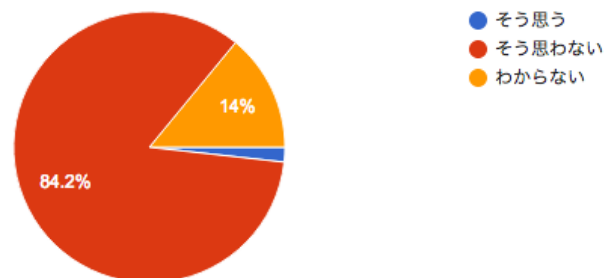
8) 医師は医学知識が豊富なので、患者さんは常に医師の意見に賛成する。

114 件の回答



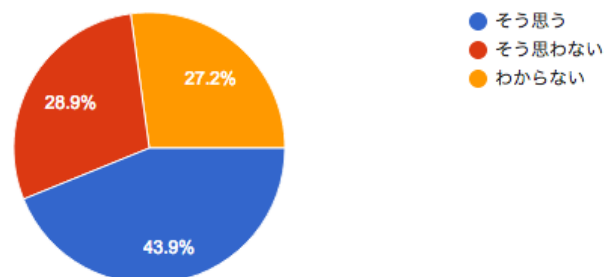
9) 直接症状と関係がなくても生活歴や職業歴は決まった項目として断りなく患者さんに聞いても良い。

114 件の回答



10) 患者医師間のコミュニケーションの場合、情報伝達量は非言語より言語コミュニケーションの方が多い。

114 件の回答

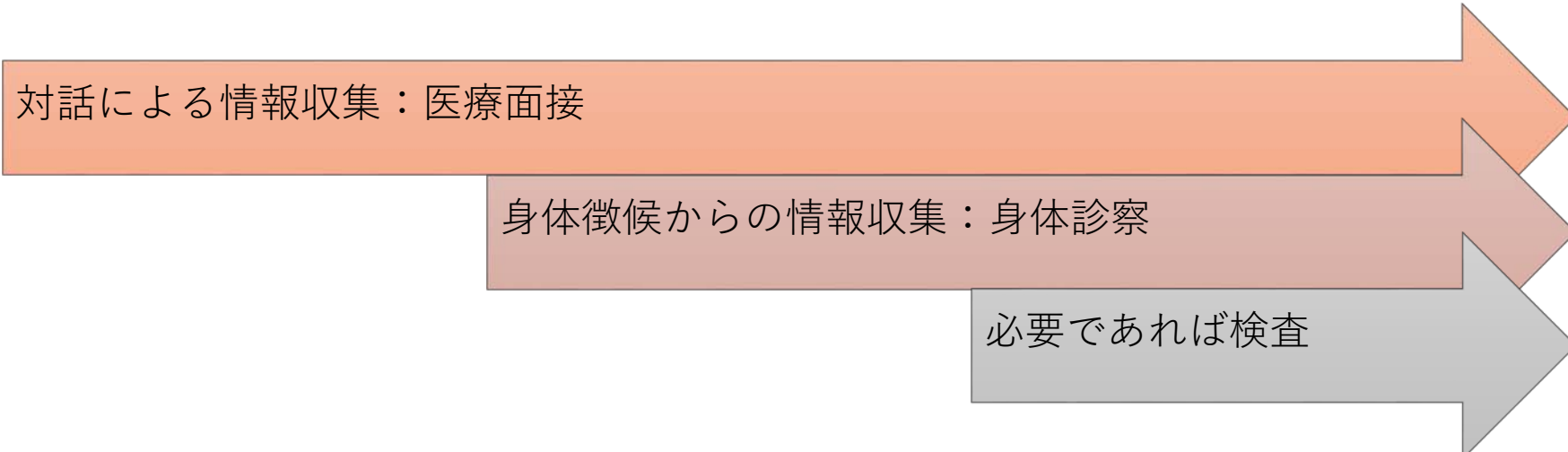


この時間（臨床診断総論・医療面接）の到達目標



- 医療面接とは何か、を理解し説明できる。
- 医療におけるコミュニケーションの重要性を理解できる。
- 患者から適切に情報を収集すると同時に、患者との良好な関係を構築するにはどうしたら良いか、を考えることができる。

医療面接とは医療行為であり臨床技能である



対話による情報収集：医療面接

身体徴候からの情報収集：身体診察

必要であれば検査

- 医師にとって臨床診断に不可欠であり最も基本となる**医療行為**
- **正しい診断をするために**、身体診察、画像診断、検査につながる患者の情報を患者から聴取する技能
- **最も頻繁**に行い、**最も長い時間**を費やす医療行為

Bテスト（みなさん、スマホを取り出してください）

- QRコードの読み取れるスマートフォンを持っている人は、「Bテスト」を読み込み、チェックおよび記載を進めてください。

→最後まで回答したら「送信」を忘れずに。

- スマートフォンで進めることができない人は、手を上げて紙を受けとり、
「Bテスト」にチェックおよび記載を進めてください。

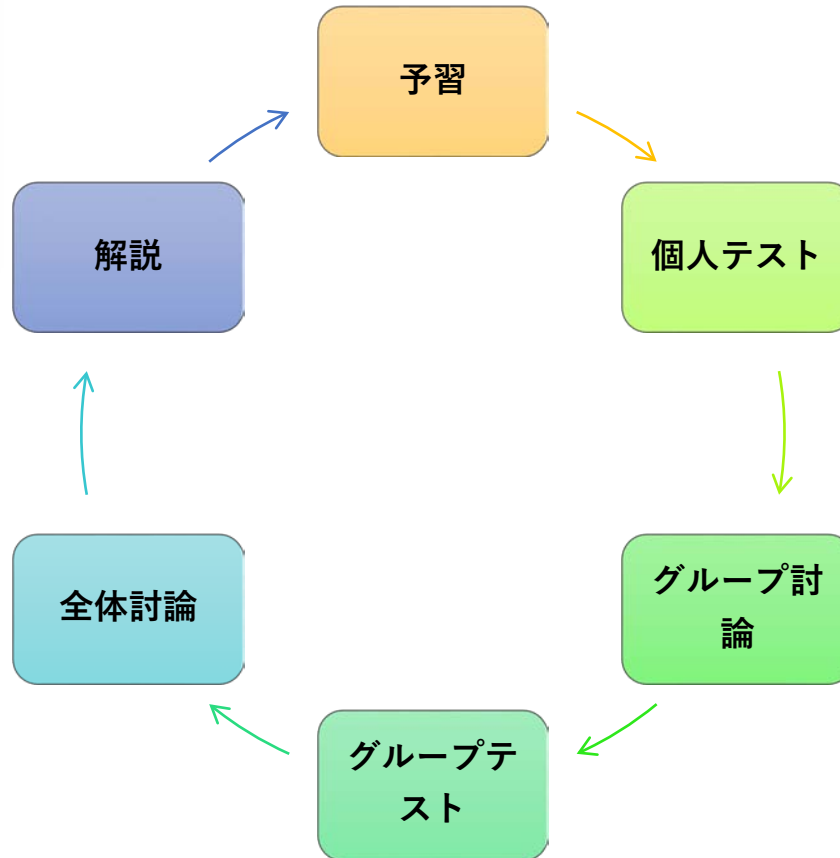
出席番号と氏名の記入を忘れずに

臨床技能教育 【身体診察・臨床推論】

～4年生～

臨床推論に必要な情報を患者から得るための
身体診察技法を考えるTBL

Team-Based Learning (TBL)



設問)

50歳男性。

事故で右腕を強く打ち、救急車で搬送されてきた。

右上腕骨骨幹部骨折が認められる。

右手関節と右指の伸展は不可。屈曲は可能。

どのような病態が考えられる？

四肢脊柱の診察の目的

臨床推論・鑑別診断の根拠となる
ための四肢脊柱身体診察手技の
意義・意味を理解する

実習で
手技をとことん実践

臨床実習では本当の外来初診患者さんを一人で診察するので、
意味をわかって手技ができない
と、患者さんが困るよ！

設問)

50歳男性。

事故で右腕を強く打ち、救急車で搬送されてきた。

右上腕骨骨幹部骨折が認められる。

右手関節と右指の伸展は不可。屈曲は可能。

どのような病態が考えられる？



→ 下垂手

外傷性
橈骨神経麻痺

臨床推論と「臨床技能」

胸部

腹部

四肢脊柱

神経

頭頸部

上肢

下肢

脊柱

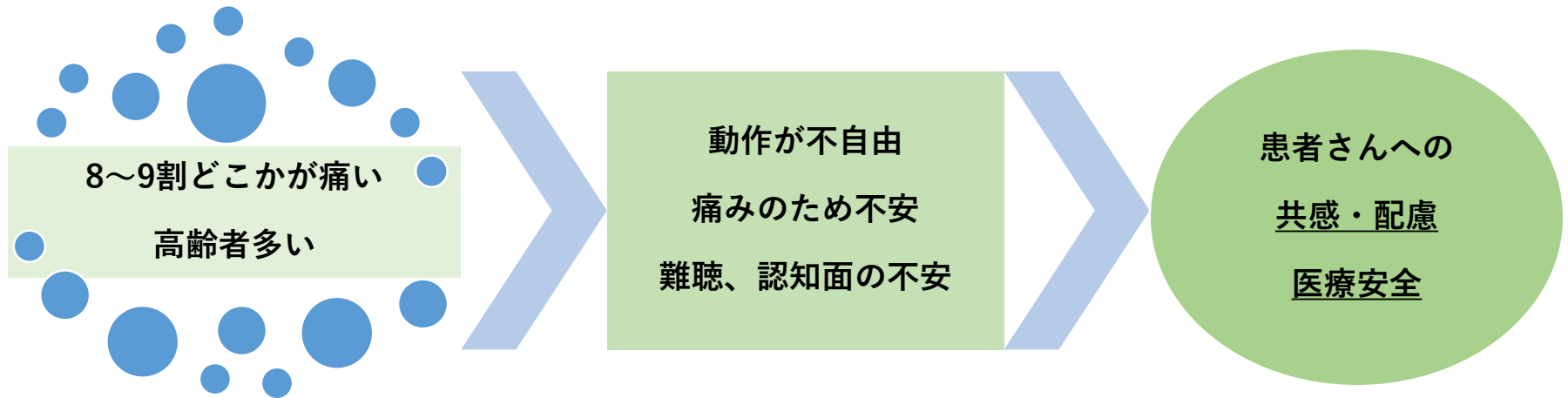
整形外科

リウマチ・
膠原病内科

神経内科

脳神経外科

四肢脊柱身体診察を行う前提として重要なこと



例)

- 共感・配慮 → 声かけ、説明をしてから身体に触れる
 - 痛かったら言ってもらおう
 - 痛がったらそれ以上無理に行わない
- 医療安全 → 動作の指示はわかりやすく正確に
 - 立位の手技や移動の際は必ず声をかけて支える

臨床技能教育 【医療面接・身体診察・ 臨床推論の実践】

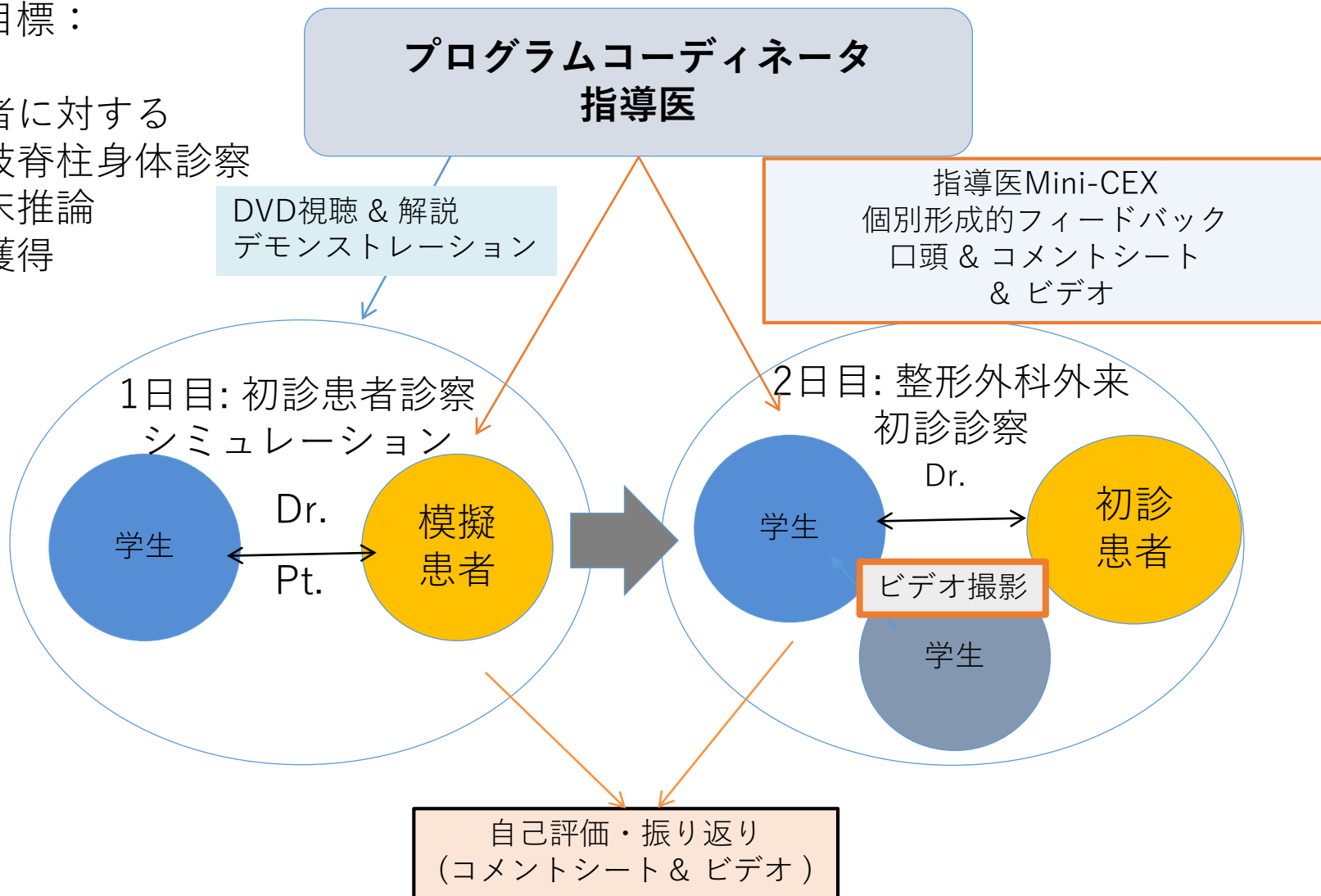
～5年生～

臨床技能（医療面接・身体診察）実践における
学修者へのシミュレーション時個別ビデオフィードバックの導入

四肢脊柱身体診察・臨床推論 シミュレーションプログラム

学修者目標：

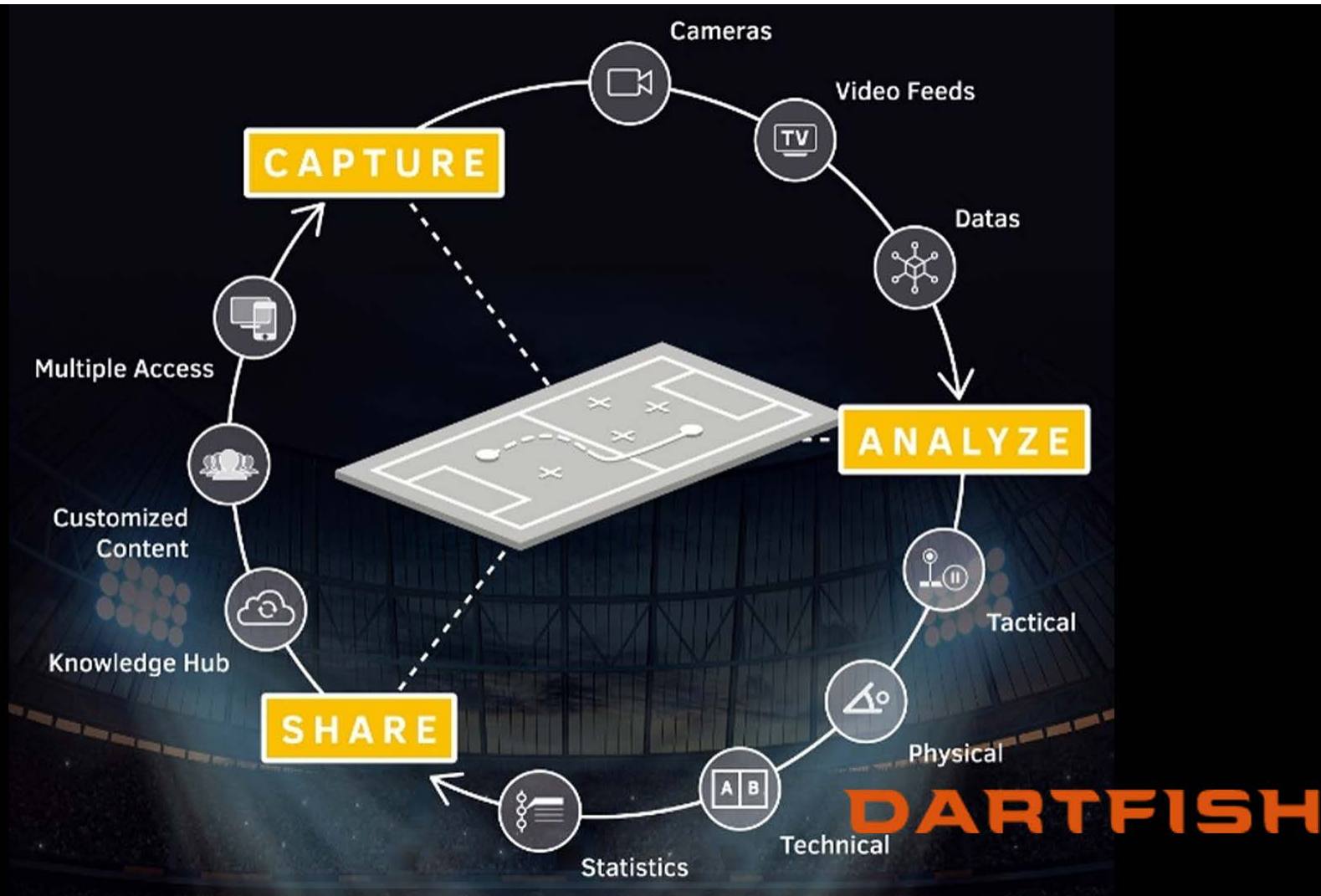
初診患者に対する
1. 四肢脊柱身体診察
2. 臨床推論
技能の獲得



四肢脊柱身体診察・臨床推論 シミュレーションプログラム

- 動画供覧

ダートフィッシュ[®]



ダートフィッシュ[®] のタギング機能を用いたフィードバック

- 動画供覧

まとめ

- 低学年では講義への興味、講義内容の理解度を高めるためにプレ・ポストテストを行い、理解度の向上を認めた
- 臨床実習前の机上の学修においても臨場感を持たせ、臨床技能の重要性を考えさせるためにTBLによるアクティブラーニングを行った
- 模擬患者診察、実際の患者診察の様子を動画撮影し、フィードバックすることで、より実践的な技能教育を行うことができる